

検査ニュース

Vol. 4 No. 7

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、検査項目の内容変更についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 枝 國 源 一 郎

●検査項目の内容変更①

(令和2年12月4日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
43	1185	グリココール酸(CG)	所要日数	2~6	2~8	所要日数の変更
52	1431	可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	項目コード	1431	1466	全自動測定機器への変更、および、検査方法、基準値、報告範囲の変更
			検査方法	凝集反応	LPIA	
			基準値(単位)	陰性	7未満(μg/mL)陰性	
			報告範囲	なし	濃度:3未満、 3~99900000	
53	1481	プロテインS(抗原量)	検査方法	EIA	ラテックス凝集反応	測定試薬の変更に伴う、検査方法、基準値、報告範囲、所要日数の変更
			基準値	65~135(%)	M 73~137 F 59~143(%)	
			報告範囲	5以下、 6~99900000	4未満、 4~99900000	
			所要日数	2~6	2~4	
53	1434	プロテインS(遊離型抗原量)	基準値	60~150(%)	M 50~131 F 49~133(%)	測定試薬の変更に伴う、基準値、報告範囲の変更
			報告範囲	5以下、 6~99900000	5未満、 5~99900000	
69	2078	HCV RNA コアジェノタイプ	報告表記	1a型(1型)	1a型	ガイドラインに準じた報告表記への変更
				1b型(2型)	1b型	
				2a型(3型)	2a型	
				2b型(4型)	2b型	
				3a型(5型)	3a型	
				3b型(6型)	3b型	
77	1655	免疫電気泳動 [抗ヒト全血清による同定]	報告内容	(蛋白成分) Hemopexin判定あり 全12種類	(蛋白成分) Hemopexin判定なし 全11種類	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および報告内容の変更
77	1656	尿中免疫電気泳動 [ペンスジョーンズ蛋白同定]	検体量	10mL	0.4mL	適正な検体量への変更

検査ニュース Vol.4 No.7

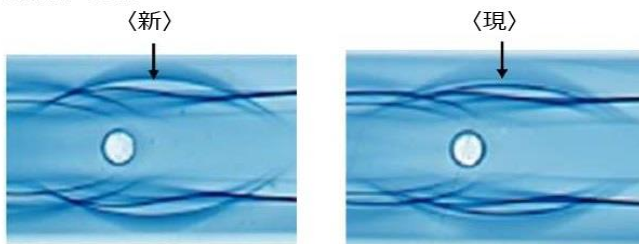
●検査項目の内容変更②

(令和2年12月4日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
79 88	1611	心室筋ミオン軽鎖 I	所要日数	2~5	2~6	所要日数の変更
86	2689	11-OHCS (11-ヒドロキシコルチステロイド)	所要日数	2~6	2~8	所要日数の変更
88	2789	ガストリン	所要日数	2~4	2~5	所要日数の変更
57 62 63 64 65		ウイルス検査 (CF法)	所要日数	3~5	4~6	外部委託先測定場所変更に伴う所要日数、検体量、報告範囲、報告内容の変更
			検体量	血清 0.2mL ※髄液 0.4mL	血清 0.3mL ※髄液(変更はありません)	
			報告範囲	4未満、4~512、 1024以上	4未満、4~67108864、 (以上報告なし)	
			報告内容	(非特異反応が認められた際の報告) 「非特異反応が認められたため〇〇法をお勧めいたします」	(非特異反応が認められた際の報告) 「非特異反応のため判定不能とさせていただきます」	
			該当項目	1507・マイコプラズマ抗体価(CF) 1570・オーム病 (クラミドフィラシタシ) 1801・単純ヘルペスウイルス 1802・水痘・帯状疱疹ウイルス 1805・サイトメガロウイルス 1806・アデノウイルス 1807・インフルエンザウイルスA型 1808・インフルエンザウイルスB型 1809・RSウイルス	1810・ムンプスウイルス 1813・日本脳炎ウイルス 1826・コクサッキーウイルスA群9型 1828・コクサッキーウイルスB群1型 1829・コクサッキーウイルスB群2型 1830・コクサッキーウイルスB群3型 1831・コクサッキーウイルスB群4型 1832・コクサッキーウイルスB群5型 1833・コクサッキーウイルスB群6型	

●免疫電気泳動〔抗ヒト全血清による同定〕

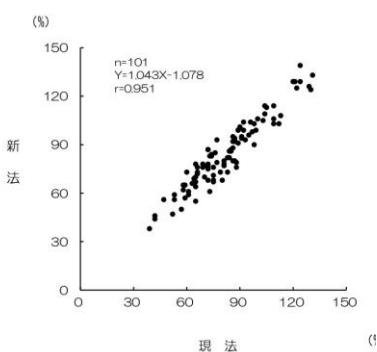
▼泳動像の比較



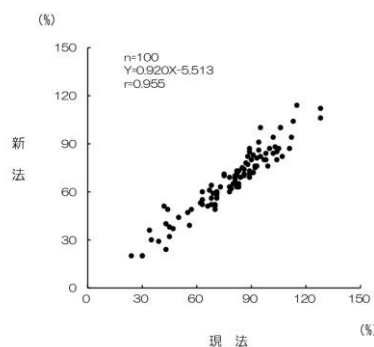
新規試薬は、現行試薬と比較して Hemopexin の沈降線(図中矢印)が捉えづらく、正確な増減判断を行うことが出来ません。試薬変更後は Hemopexin を除いた全 11 種類の蛋白を増減判定対象といたします。

●現法と新法の比較

◆プロテインS (抗原量)



◆プロテインS (遊離型抗原量)



◆可溶性フィブリンモノマー複合体 (SFMC)

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	28	3
	陽性	22	47

相関一致率: 75% (n=100)